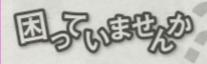
2017年7月12日 上毛新聞「元気らいふ」に掲載



「検尿で陽性(+)

「健康診断の検尿で引っ掛かった」「タンパク 尿が出ていると指摘された」という人はいません か? 尿は体の健康状態を示す重要なサインで す。腎臓は血液中から不要な水分や老廃物をこ して尿を生成する役割があります。何らかの原因 で機能が障害されると尿にタンパクが漏れ出す ことがあります。

腎臓が悪いと「尿が出にくくなる」「顔や手足が むくむ」などの自覚症状が出ることが知られてい ますが、発病しても自覚症状を伴わない腎臓病 育臓病を早期発見



も実は数多く存在します。知 らぬ間に進行し、腎機能が 悪くなると元の状態に戻すこ とはなかなか難しくなります。

検尿は腎臓病を早期発 見するための大切な検査で

す。繰り返しタンパク尿が出ているようであれば、 病気が隠れている可能性が高くなります。精密 検査やきちんとした治療が必要になる場合があ るので、尿検査の結果が陽性(+)になるなど異 常を指摘されたら、放置せずに医療機関で相談 してほしいと思います。

済生会前橋病院腎臓リウマチ内科

三島 敬一郎

協力/県医師会